

みえ県議会 だより

NO. 171

令和元年 (2019年) 8月1日



熊野古道・馬越峠 (紀北町)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町 13 ☎ 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 ✉ gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより



▲議会Facebookページ

令和元年三重県議会定例会 6月定例会議

令和元年度三重県一般会計補正予算や、「みえ県民力ビジョン・次期行動計画」などについて議論

防災・減災対策の充実を図るための公共事業費等を含む令和元年度三重県一般会計補正予算や、最終年度に入った「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の次期行動計画などについて議論しました。

本号の主な内容

- 1面 三重県議会定例会 審議結果と主な開催実績、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)、令和元年度第1回三重県議会議員勉強会を開催 ほか
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説 ほか

三重県議会定例会 審議結果と主な開催実績

審議結果

可決した議案

予算

○令和元年度三重県一般会計補正予算 (第2号) ほか2件

条例

○三重県森林環境譲与税基金条例案

○三重県手数料条例の一部を改正する条例案 ほか10件

その他議案

○土木関係建設事業に対する市町の負担について ほか2件

人事案件 (同意)

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか2件

可決した意見書案

○豚コレラ対策の強化を求める意見書案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

令和元年度第1回三重県議会議員勉強会を開催

6月26日に、全議員が参加する議員勉強会を開催しました。今回は慶應義塾大学大学院の高木超特任助教を講師にお招きし、「SDGsへの自治体の関わり方」と題し、ご講演をいただきました。

SDGsとは、世界が直面する多種多様な問題の解消と持続可能な社会の構築に向け、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、昨今、行政や企業等、さまざまな主体が今後の施策展開等を計画する際、SDGsの考え方を取り入れようとする動きが広がってきています。

そこで、県議会での今後の議論の参考とするため、鎌倉市のSDGs推進アドバイザー等、SDGsの推進に向けて積極的に活動されている高木特任助教から、SDGsの基本理念や県の施策へ反映する際の活用方法などについてご意見をいただきました。



主な開催実績

6月

3日 本会議

6日 本会議

10日 本会議

12日 本会議

14日 本会議

17日 本会議

18日 本会議

25日 本会議

26日 本会議

28日 本会議

三重県議会定例会 今後の日程 (予定)

9月から10月までの日程 (予定) は次のとおりです。

9月4日 代表者会議

9月11日 議会運営委員会

18日 本会議 (議案上程)

24日 本会議 (議案質疑)

26日、30日 本会議 (一般質問)

10月2日 本会議 (一般質問)

3日 予算決算常任委員会

4日 全員協議会

7～10日 各常任委員会及び分科会

16日 本会議 (代表質問)

17日 予算決算常任委員会

18日 本会議 (採決・議案上程)

23日 全員協議会

24日 予算決算常任委員会

28日 予算決算常任委員会 (決算総括質疑)

30～31日 予算決算常任委員会各分科会

テレビ中継 □ インターネット中継

※この日程は、令和元年7月5日現在の予定です。最新の情報は、議会ホームページ内「議会の日程」でご確認ください。

三重県議会フェイスブックページの お知らせ

三重県議会では、県民の皆さまに県議会活動を身近に感じ、一層のご理解をいただけるよう、本年4月から「フェイスブック」による情報発信を開始しています。

掲載内容

- ・議会主催事業のご案内、催し物のご案内
- ・議会中継や議会提供番組のご案内
- ・議長定例会記者会見内容のご紹介 など

最新情報を皆さまにお届けしています。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/miepref.gikai>



▲議会 Facebook のページ

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代表質問

市民参加予算について

稲垣 昭義 議員
(新政みえ/四日市市選出)



問 知事の政策集にフラン
ス・パリ市などで行われて
いる「参加型予算」の導入を検討
する旨の記載がありました。これ
まで、三重県でも、予算編成過程
のインターネットでの公開などは
行われてきましたが、政策集に書
かれているのは、「市民参加予算」
と書かれているものであり、日本
ではまだ実例がありません。

答 県が検討している「参加
型予算」は、県民の皆さん
との協創による予算を作り上げる
観点から、県が実施する事業の構
築に県民の皆さんの新たな発想や
身近な問題意識を取り入れ、事業
の質の向上や限られた資源の有効
活用を図るとともに、県民の皆さん
が県予算に興味を持っていただ
くことをめざすものです。令和2
年度の当初
予算編成か
らの導入を
検討してお
り、多くの皆
さんに関心
をもってい
ただけるよ
う工夫して
いきたい
と思います。



○スマート自治体の
取り組みについて
ほか



▲代表質問
(稲垣昭義 議員)

「子どもを虐待から守る条例」の改正を

中森 博文 議員
(自由民主党県議団/
名張市選出)



問 平成16年、「子どもを虐待
から守る条例」が、全国で
初めて議員提案条例として制定さ
れました。その後、国においては
児童虐待の根絶に向けて、児童相
談所の体制拡充や関係法律の整備
が行われて
います。三
重県におい
ても、この
4月に鈴鹿・
亀山地域を
担当する児
童相談所が新設されました。そのよ
うな中、県では本年度、「子どもを
虐待から守る条例」の改正を予定さ
れています。改正に当たっての知
事の思いと見直しの考えをお聞か
せください。



答 見直しに当たっては、これ
までの取り組みの進展や成
果を検証して必要な事項を書き込む
とともに、子どもや虐待に関する法
改正への対応を確実に行うこととし
ています。今回の改正は、児童虐待
防止に向け、三重県議会が強い思い
を込めて制定された議員提案条例の
改正であることをしっかりと踏まえ、
子どもを社会全体で見守る、虐待は
絶対に許さない、という強いメッ
セージを発信していけるような取り
組みにまいります。

○南海トラフ地震
臨時情報
○幼児教育・保育無
償化 ほか



▲代表質問
(中森博文 議員)

リニア中央新幹線の 早期全線開業に向けて

長田 隆尚 議員
(草莽/亀山市選出)



問 三重県の平成31年度当初
予算のポイントには、「三
重・奈良・大阪ルートおよび県内
駅位置の早期確定や東京・大阪間
の早期全線開業に向け、関係府県
市、経済団体等と連携しながら、
JR東海のリニア事業に協力する
とともに、県内の気運醸成を図る」
と書かれています。しかし、県が
行った令和元年5月の国への提
言・提案は、昨年11月の国への要
望からあま
り進展がみ
られません。
県内の気運
をどのように
醸成していく
のか、知事
の意気込み
をお聞かせ
ください。



三府県によるリニア啓発看板(東京メトロ霞ヶ関駅構内)

答 昨年度から本年度にか
け、リニア中央新幹線の開
業による時間短縮効果や、観光な
どさまざまな分野に及ぼす効果な
どについて、調査を実施しており、
その効果を分かりやすく県民の皆
さんにお示しすることで、全線開
業に向けた県全体の気運醸成を
図っていきたいと考えています。
今後、令和という新時代に、県民
の皆さんに夢と希望を持っていた
だけるよう、一日も早いリニア全
線開業の実現に向け全力で取り組
んでいきます。

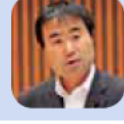
○「親往知来」防災・減災パッケ
ジについて
○交通安全対策に
ついて ほか



▲代表質問
(長田隆尚 議員)

豊かな海の再生へ向けて

村林 聡 議員
(自民党/度会郡選出)



問 海は、きれいなだけでな
く豊かでなければならぬ
として、県が「きれいで豊かな海」
を目指していただいていること
については、評価をしています。
環境生活部は、環境を保全する
ため、さまざまな行為を規制する
部であることは理解していますが、
規制だけでは「豊かな海」は実現
できません。「豊
かな海」を実現
するためには規
制のほかに何
が必要なのか、理
想の環境とはど
ういうものなの
か、考えをお聞
かせください。



答 豊かな海の再生には生物
多様性の確保が重要であ
り、③貧酸素水塊の発生により生
物が窒息しにくい環境になつてい
るなどの問題にも着目していきま
す。各種調査・研究を進め、知見
の蓄積を図るとともに、必要に応
じて、新たな指標の設定などを国
に働きかけてまいります。また、
陸域からの汚濁物質の流入を引き
続き適正に管理し、藻場・干潟の
保全・再生など、関係部が連携し
た総合的な水環境改善対策を進め
てまいります。

○仕事創出のあり方と次期行動計
画について
○道路冠水対策につ
いて ほか



▲代表質問
(村林 聡 議員)

一般質問

農福連携について

藤田 宜三 議員
(新政みえ/
鈴鹿市選出)



問 三重県では、「一
般社団法人三重県障
がい者就農促進協議会」が
中心となり、県と連携して、
農福連携全国サミットの開
催や⑤農業ジョブトレーナー
の育成など、農福連携の推
進を図ってきました。しか
し、同協議会の財政的基盤
は脆弱であり、財政的支援
も必要ではないかと考えま
すが、農福連携の今後の推
進体制の充実について県の
考えをお聞かせください。

答 障がい者が農業分
野で活躍の場を広げ
ていくうえで、福祉事業者
の農業参入に加え、農作業
を福祉事業所に委託する「施
設外就労」を進めることが
必要です。このため、地域
の障がい者支援組織や農協
などが参画する体制を新た
に構築しながら、より広
りをもつ
て農福連
携が進む
よう取り
組んでい
きます。



農業ジョブトレーナー育成研修の様子

○もつかる農業について
○外国につながる子供たちの
就学前支援
教室について
ほか



▲一般質問
(藤田宜三 議員)

障がい者の親亡き後の 問題について

小林 正人 議員
(自由民主党県議団/
鈴鹿市選出)



問 知的障がいのある
子を持つ親にとつ
て、自分が亡くなった後の
不安はたいへん大きく、そ
の不安には、日常生活の見
守りに対する不安、本人の
自立した将来像が描けない
ことへの不安、本人の権利
擁護に対する不安と、大き
く3点が挙げられます。そ
こで、これらの不安に対す
る解決策や取り組み、知的
障がい者の親亡き後の支援
策について県の考えをお聞
かせください。

答 障がい者が必要な
支援を受けながら、
地域で安心して自立した生
活ができ、障がいのある子
を持つ親の不安が少しでも
解消されるよう、グループ
ホームの整備や障がい者の
権利擁護の取
り組みに加
え、障害福祉
サービスや相
談支援体制の
充実などに、
総合的に取り
組んでまいります。



○子ども貧困対策について
○鈴鹿の海岸
堤防等の整
備について
ほか



▲一般質問
(小林正人 議員)

認知症の予防について

谷川 孝栄 議員
(草莽 / 熊野市・南牟婁郡選出)



問 国において取りま
とめられた「人生
100年時代に対応した
『明るい社会保障改革』の
方向性」
において、
予防・健
康づくり
の重要性
が示され
ています。
県においても、認知症の予
防について、今年度、⑥ソ
シャル・インパクト・ボン
ドの活用に向けた取り組み
を実施することとしていま
す。そこで、今後、どのよ
うに取り組みを進めていく
のか、お聞きかせください。



答 ソシャル・イン
パクト・ボンドを活
用した認知症予防の取り組
みについては、まずは、先
行自治体の調査と県内市町
の導入意向に関する調査を
実施し、その後、市町に対
する調査結果の周知や、関
心のある市町との協議等
を、今年度から翌年度にか
けて実施していきたいと考
えています。

その他の質問事項

○少子化対策としての女性
の健康づくりについて

○体罰によら
ない子育て
について

ほか



▲一般質問 (谷川孝栄 議員)

海女文化の 振興について

野村 保夫 議員
(自民党 / 鳥羽市選出)



問 本年5月20日、「海
女に出逢える街 鳥
羽・志摩 素潜り漁に生き
る女性たち」が日本遺産に
認定されました。海女文化
につきましても、文化財保
護の観点に加え、漁業振興
や観光振興の面からも、そ
の価値を広く訴え、伝えて
ゆくことが重要であると考
えています。今後、県とし
てどのような支援に取り組
んでいくのか、知事の意気
込みをお聞きかせください。



答 海女文化の振興に
向け、今後、文化
財保護、漁業振興、観光振
興の3つの柱で取り組んで
まいります。ユネスコ無形
文化遺産登録に向けてさら
に気運を醸成し、国内候補
として選定されるよう、海
女漁に
関する
先進県
のリー
ダーと
して、地域の皆さんとも
にしっかりと取り組んでま
います。

その他の質問事項

○黒ノリ養殖業の振興策に
ついて

○健康寿命の
延伸につ
いて

ほか



▲一般質問 (野村保夫 議員)

みえ子ども医療ダイヤル の利用促進と充実を

山内 道明 議員
(公明党 / 四日市市選出)



問 ⑦「みえ子ども医療
ダイヤル#8000」
は、長い歴史のある取り組
みですが、知らない子育て
世代は多いようです。仕事
と子育ての間で葛藤するな
ど、保護者の生活環境が変
化している中、この取り組
みの利用促進と充実、子
どもの救急医療体制の充実
や「かかりつけ医」の推進
とともに重要です。そこで、
利用促進と充実を今後どの
ように進めるのかお聞きせ
ください。

答 みえ子ども医療ダ
イヤルは、核家族化
の進展などによる保護者の
子育て不安を解消する手段
としても重要であり、一人
でも多くの県民の皆さんに
知ってもらえるよう、今年
度は、カード型啓発リーフ
レットを作成し配布しまし
た。今後も、市町や関係機
関等と連携
し、一層の
周知に努め
てまいりま
す。

その他の質問事項

○福祉施設の災害時対応と
事業継続計
画(BCP)
の策定に向
けて

ほか

ほか



▲一般質問 (山内道明 議員)

子ども心身発達医療セン ターの運営について

下野 幸助 議員
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



問 この5月末、発達
障がいのお子さん
を持つ多くの親御さんから
「子ども心身発達医療セン
ターの今年度
の初診の予約
受付がもう終
わってしまっ
た。なんとか
ならないか。」
と相談があり
ました。5月末の時点で10
か月待ちという状況は、早
急に手を打たないといけな
いと思えます。県民のニ
ーズに添えていくため、同セ
ンターの今後の運用改善に
ついてお聞きかせください。



答 同センターでは、
本年度まで（令和2年3月ま
での10か月間）の予約枠が
埋まり、現在は初診予約の
受付を一旦停止していま
す。ただし、緊急枠の受け
入れは行っており、また、
今後、増員した医師への研
修が終わり次第、初診枠を
拡充していく予定です。
今後とも、診療体制の強
化などにしっかりと取り組
んでまいります。

その他の質問事項

○人口減少による若者の県内
定着と都市政策について

○交通安全対
策について

ほか



▲一般質問 (下野幸助 議員)

次期の⑨三重県教育施 策大綱の策定について

津田 健児 議員
(自由民主党県議団 / 四日市市選出)



問 今年度は、次期の
三重県教育施策大綱
の策定が予定されていま
す。知事の政策集におい
ても、教育や人づくりに関
する公約が掲げられており、
それらの実現に向けて、責
任を持って次期の策定に取
り組んでいただきたく
いと思えます。そこで、教
育を取り巻く社会情勢の変
化をどう捉え、どのように
次期の策定に反映させてい
くのか、知事の考えをお聞
かせください。

答 教育を取り巻く社
会情勢としまして
は、人口減少や少子高齢化、
超スマート社会(Society5.0)
の到来などの大きな時代の
変化に加え、いじめや不登
校、虐待など、子どもたち
に身近な課題も生じていま
す。次期の策定に当
たっては、こうした状況に
適切に対応するとともに、
子どもたち
の希望と輝
く未来の実
現に向け、
十分検討を
重ねてま
います。

その他の質問事項

○四日市北警察署跡地の地域
防犯拠点の支援について

○三重のふる
さとの川、
復活への取
り組みにつ
いて

ほか



▲一般質問 (津田健児 議員)

東京2020オリンピック聖火 リレー三重県ルートについて

館 直人 議員
(草莽 / 三重郡選出)



問 来年3月から47
都道府県を巡る聖
火リレーについて、東京
2020オリンピック・パ
ラリンピック組織委員会が
ルート概要を、県実行委員
会が県内ルート概要を発表
しました。県内ルートは29
市町の内12市町を通るル
トですが、各市町には丁寧
な説明が必要だと考えま
す。そこで、ルート選定の
経緯や考え方、今後のスケ
ジュール
などにつ
いてお聞
かせくだ
さい。

答 県内ルートは、実
行委員会の基本コン
セプト「多様性」と「未来
への継承」に基づき、自然
や歴史・文化など、県内の
魅力を発信できるよう検討
を重ね決定されました。今
後は、リレーイベントを企
画する中で、ルートに選定
されなかった市町の情報発
信などを検討するとともに、
出発式等各種行事の企画立
案など、本格的な運営準備
を進めてまいります。

その他の質問事項

○三重とわか大会について

○もうかる農
業(水田農
業)につ
いて

ほか



▲一般質問 (館直人 議員)

南海トラフ地震津波対応 について

平畑 武 議員
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



問 多くの電柱に「海
抜」が表示されてい
ますが、観光客など地域の
実情を知らない方にとって、
今いる場所が安全なのかど
うか、判断するのは難しい
と思います。そこで、例え
ば電柱など、可能な限り多
くの場所に、最大の津波高
を目に見える形で表示した
り、逃げる方向を示したり
することはできないでしょ
うか。お考えをお聞きせ
ください。

答 さまざまな標識の
設置は、災害リスク
の周知や避難行動の促進に
有効と考えます。設置場所
や表示内容は、地域の実情
をふまえ、地域住民の理解
を得ながら進めることが必
要であり、県としましては、
今後とも先進事例を情報提
供するなど
の助言・支
援を行いな
がら、市町
の取り組み
を促してま
います。

その他の質問事項

○市町のふるさと納税に対
する県の支
援につ
いて

ほか

ほか



▲一般質問 (平畑武 議員)

三重県の外来種対策について

田中 祐治 議員
(自由民主党 県議団)
松阪市選出



問 自然を破壊する原因のひとつに外来種の問題が挙げられます。県内でも、ミシシッピアカミミガメ(通称ミドリガメ)、ブラックバス、ブルーギル、ジャンボタニシなどの侵略的外来種が多く生息し、地域の生態系や人間の生活に深刻な被害や悪影響を与えています。生物多様性を維持するため、県はどのような外来種対策を行っていくのか、お聞かせください。

答 県では、外来種による被害を予防する二原則「入れない・捨てない・拡げない」や、特定外来生物の飼育等の禁止について、さまざまな機会を通じて、普及啓発や情報提供を行っています。今後も、国や市町と連携し、生態系に影響を与える特定外来生物等への県民の皆さんの理解促進に努めるとともに、駆除活動などへの支援を行っていきま



外来魚の駆除活動の様子

その他の質問事項
○「みえ松阪マラソン」の支援について
○障がい者施策について
ほか



▲一般質問 (田中祐治 議員)

子どもの貧困対策の推進を

藤根 正典 議員
(新政みえ)
熊野市・南牟婁郡選出



問 子どもの貧困対策の推進に当たり、児童養護施設の子どもたちの退所後に向けての支援や、里親委託解除後など、社会的養護を必要とする子どもたちの自立支援について、県の取り組みをお聞かせください。

答 児童養護施設の子どもたちが、中高生の段階から進学や就職について考えられるよう、昨年度は施設出身の大学生等との交流会や施設出身者を積極的に雇用している経営者から話を伺う機会を設けました。また、年齢制限によって施設を退所、あるいは里親等への委託を解除となった方に対して、22歳となる年度の末まで生活の場を確保する取り組みも始めました。今後とも、児童養護施設や里親関係者等と連携し、自立支援の一層の充実に努めてまいります。



その他の質問事項
○公契約条例の制定について
○海岸漂着物問題への取り組みについて
ほか



▲一般質問 (藤根正典 議員)

消防団の充実を

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ)
津市選出



問 近年、増加傾向にある火災や地震、台風などの大規模自然災害に、消防本部や消防署だけで対応するのは難しくなってきた中、消防団の果たす役割は大きく、地域防災力の充実強化が大いに求められています。「三重県防災対策推進条例」の改正に合わせ、消防団を条例に位置づけるべきだと思いますが、県の考えをお聞かせください。

答 消防団は、河川や土砂災害のおそれがある危険箇所を警戒、地域の巡回活動などを行い、被害を未然に防いでいます。地域における「共助」の中核的存在として、消防団の果たす役割は重要となっており、消防団の強化や消防団への加入促進に関する内容を条例に盛り込む方向で検討を進めていきたいと考えています。



消防団の放水訓練の様子

その他の質問事項
○GAP認証取得について
○健康寿命の延伸について
ほか



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

用語解説

1 南海トラフ地震臨時情報
南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が、平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。中央防災会議での「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の変更を踏まえ、国や地方公共団体、企業等がこの基本計画に基づく防災対応をとりやすくするため、令和元年5月31日15時より提供が開始されました。

2 親往知来
過去のことをしつかり参考にし、将来を展望して見通しを立てることです。(出典:「列子」説符篇)

3 貧酸素水塊
夏場を中心におこる、海底付近の海水中の酸素の量が極端に少なくなった状態のことです。大量発生した植物プランクトンなどの死骸が海底に蓄積・分解されることにより、海底の溶存酸素量が極端に低くなることで、生態系や漁業に大きな被害をもたらします。

4 農福連携
障がい者が農業の新たな担い手として活躍できるよう、農業への福祉事業所の参入支援や障がい者の就労促進など、農業分野と福祉分野の連携を推進する取り組みのことです。

5 農業ジョブトレーナー
障がい者が農業分野で働きやすくなるよう支援する人材のことです。

6 ンシャル・インパクト・ボンド
必要な資金を民間から募り、当該資金を元手として事業を行った結果、行政負担が軽減されれば、それに応じて行政から民間資金提供者に返済する制度のことをいいます。

7 みえ子ども医療ダイヤル#8000
小児夜間医療・健康電話相談のことで、18歳未満の子どもおよびその家族を対象に、毎日19時30分から翌朝8時の間、病気や薬、事故に関する事項について、医療関係の専門相談員が電話による相談を行うものです。

8 BCCP
Business Continuity Planning (事業継続計画)の略で、災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画のことです。

9 三重県教育施策大綱
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体の長である三重県知事が三重の教育の基本的な方針や教育施策の主な内容について示したものです。

10 超スマート社会(Society5.0)
狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を指します。必要なもの・サービスを、必要な人・必要な時に、必要なだけ提供し、社会のさまざまなニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といったさまざまな違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会のことです。

11 GAP
Good Agricultural Practice (農業生産工程管理)の略で、農業の使い方、土や水などの生産を取り巻く環境、農場の労働者の状況など、あらゆる工程を記録・点検・改善して、安全な農産物の生産につなげる取り組みのことです。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営の用語解説については、議会ホームページでご覧いただけます。



▲議会運営用語解説のページ

請願と陳情の受付

県に対して意見や要望がある場合、どなたでも県議会に請願や陳情を提出できます。

請願
請願は、議員の紹介を受けて提出できます。県議会では、提出された請願を所管の委員会で議案と同様に審査し、実現する必要があると採択した場合に、国に意見書を提出したり、県政に反映させるよう執行機関に働きかけたりします。

陳情
陳情は、議員の紹介がなくても提出できます。提出された陳情については、とりまとめた上で、全議員に配付します。
※手続きなど詳細は、三重県議会事務局までお問い合わせください。

「みえ県議会新聞」発行のお知らせ

「みえ県議会新聞」とは、県議会のしくみや活動を、年2回新聞大の大きな紙面で分かりやすくお伝えするものです。
最新号(令和元年8月1日発行)では、新しい議員の紹介や、行政部門別常任委員会等の活動の様子をご紹介しています。
議会ホームページに掲載しているほか、各公共施設等にも配架しています。ぜひご覧ください。



▲みえ県議会新聞のページ

今回の発行は、令和元年(2019年)10月1日(火)です。(新聞折り込みは、10月6日(日)に行います。)

みえ県議会だよりは、年7回(4、5、7、8、10、12、2月の各月1日)発行しています。